

# 各区だより

令和元年から続いた新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、それまで隔年で開催をしていた「昭和区老連 芸能交流会」が3月2日に5年ぶりに昭和区文化小劇場で開催されました。今回はコロナ禍でなかなか練習ができない学区もあって、11学区中8学区が参加しての開催でした。

当日は区老連の健康部と女性部が実行委員になり、受付や舞台の設営、司会、会場案内を行いながら開催しました。久しぶりの開催のため、施設担当者や事務局の担当も代わっているのですが、スムーズな進行ができるか心配をしていましたが、手探りの中でも実行委員と出演者の皆さんが協力して実施できました。午



(高橋 静江)



令和元年から続いた新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、それまで隔年で開催をしていた「昭和区老連 芸能交流会」が3月2日に5年ぶりに昭和区文化小劇場で開催されました。

今回はコロナ禍でなかなか練習ができない学区もあって、11学区中8学区が参加しての開催でした。

当日は区老連の健康部と女性部が実行委員になり、受付や舞台の設営、司会、会場案内を行いながら開催しました。久しぶりの開催のため、施設担当者や事務局の担当も代わっているのですが、スムーズな進行ができるか心配をしていましたが、手探りの中でも実行委員と出演者の皆さんが協力して実施できました。午

前中はハーサルを行い、午後からはいよいよ本番です。

日頃から練習を重ねてこの日を迎えただけあり、舞踊や箏曲、コーラス、楽器(オカリナ)の演奏などの発表で大いに盛り上がりました。中でもコーラスで参加いただいた皆さんはマスクなしでの出演で、大きな声で気持ちよさそうに歌っていました。観客の皆さんの中にも、歌と一緒に口ずさむ方や大きな拍手を送るなど、出演者、観客が一緒になって大いに楽しみました。

今回は残念なことに3学区が未出演でしたが、次回は区内全学区の出演で開催したいと思います。

## 昭和区



### 5年ぶりの開催!

## 瑞穂区



3年ぶりの「新春演芸会」  
大雪情報で中止も  
予想される中、開催

「なごやかクラブ瑞穂」の新年早々の行事は1月中旬の「新春演芸会」です。今年には新型コロナウイルス感染症による行動制限が解除され、瑞穂文化小劇場で3年ぶりに開催の運びとなりました。

3年に及ぶ行動制限等の影響は想像以上に大きく、地元コーラスや舞踊グループ、趣味の同好会などをはじめとする幾つか



が解散。練習できず、披露に値しないと辞退などもあり、開催が危惧されました。

しかし、長い歴史を持つ新春演芸会を寂しいものにはできません。各学区関係者の力添えもあり、例年の11学区22組に満たない19組の演目でしたが、114名がバラエティに富んだ演技を披露しました。マスクをしない演技は美しいものです。

ただ、当日は10年に一度あるかどうかの大寒波に見舞われ、極寒の大雪予報でした。結果的に積雪もなく安堵し、声援を自粛の拍手喝采で閉幕。来場者は360名でした。悪天候の中で新春演芸会に来場いただいた会員はじめ、午前のリハーサルから舞台運営や演者への進行対応など裏方担当の女性リーダーの皆さんに改めて謝意を申し上げます。

今後演芸会への取り組みに、若い人など新たな仲間が加われば、演目の幅も広がって深化を得ます。練習を通じて一歩一歩成果を上げていくことで健康寿命の延伸につながる。演芸はさらなる仲間づくり・健康づくり・社会貢献につながるものと感ずる次第です。

(吉田 憲二)

